

献詠入選歌（一般の部）

一位 終戦後軍服を着た担任がうまいかと聞く脱脂粉乳

埼玉県日高市

横田武志

二位 不思議だね君が隣にいるときは虹をたやすく見つけてしまう

京都府京都市

小池ひろみ

三位 グータツ子に言葉はいらないマスクする君と我との擦れ違う朝

神奈川県小田原市 川口克子

四位 幸せな束縛だった猫のため海外旅行をあきらめていた

愛知県岡崎市

西村愛美

献詠入選歌（小・中学生の部）

一位 背景の空描くのが難しいほかの部分ほうまくいくのに

岩沼市立岩沼中学校 山本悠奈

二位 まだ枝にぶらさがっていると思っている十八個の柿ひもで揺れながら

光市立光井小学校 横道玄

三位 空の色が青い青いと言うけれど私は少し色盲がある

岩沼市立岩沼中学校 渡邊翔

四位 塾終わり一人で歩く夜の道見上げる空には光るものあり

大磯町立大磯中学校 樋口裕子

献詠入選歌（高校生の部）

一位 夢が何か決まらぬ吾に苛ついて曇った空を混ぜたくなつた

岐阜県立飛騨神岡高等学校 井上歩香

二位 背伸びして視線の高い靴を履く君が私に振り向くように

星野高等学校 砂長陽咲

三位 グランドの雪の地上絵眺めつつサッカー部の君の背追いかける

岐阜県立古城高等学校 荒木千尋

四位 すきつ歯の幼き私笑いたる祖母の待ち受け何時変わるのか

岐阜県立古城高等学校 倉家るみ